



順造選便り

お伝えしたいこといっぱい…の気持ちをこめて。

順造選ショップ
2025年 4月号 151号

定期購読のお申し込みはこちら

0120-103-712 受付時間 10時~17時
(土日祝日を除く)

FAX.06-6443-2025 24時間受付

<https://junzosen.com/>

〒550-0003 大阪市西区京町堀1丁目18-5

ネットでも配信中!

四月の お便り



何の宗教であれ信仰されている宗教をお持ちでしょうか?

仏教であれ、キリスト教であれ、信じる教えというものを持つと人生にどんな影響を与えるのでしょうかね。

私はアメリカと日本でいろんな仕事をしてきましたが、いつも感じてきましたのは、何か大きな目に見えない力に導かれているなあということがよくありました。

仕事の上で大きな危機に直面したとき必ず助けてくださる人が現れたり、大ヒットする商品が出てきたりするのです。

それらは私の努力ではなく、目に見えない大きな力が私を助けるために私の背中を押してくださいっているんだと感じる。

どうすればよいか迷っている時には必ず目に見えない何かが私の背中を後から押してくださいます。

私が決断したのではなく、決断できない時に背中を押してくれる何か大きな力をいつも感じ、私はそれに従って動いてきました。

その時、「神」の存在を感じ、そして「ありがたい」が生まれ、合掌する私がいます。

目に見えない大きな力に自分は導かれて生きているんだ、神がこの世で私を必要とされ、私を通してなされているんだと思うのですよ。

自分の努力でできたことなんてなかつたと思います。

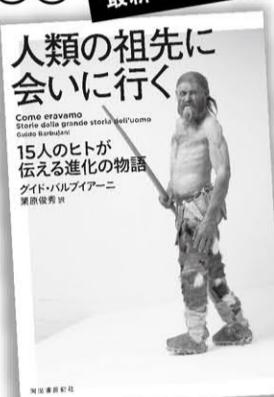
順造選便りも151号ですよ! 12年以上毎月皆さんにお届けしてきたのです。自分の力ができるはずがありません。

病気になることもなくできてきたのです。「神」「なせ!」と私にやらせているのではないでしょか!

そうとしか、やつてている私が感じざを得ないのでですよ。不思議です。

あなたに感動の一冊
本便り
「人類の祖先に
会いに行く」
ガイド・バルブイアーニ(著)
河出書房新社 栗原俊秀(訳)

超リアル!
最新のカラー復元像



人類の祖先に
会いに行く
Come eravamo
Storie dalla grande storia dell'uomo
15人のヒトが
伝える進化の物語
ガイド・バルブイアーニ
栗原俊秀(訳)

絶滅からホモ・サピエンスまで、
人類の進化史に大きな足跡を残した
15人の古生物学者・遺伝学者の成果や
精巧な復元像によって、彼らの在りし
日の姿が生き生きとよみがえる。

人類の起源アフリカからどのように世界に広がつていったのだろう!? 脳の活性化に最適の物語です。

この1年、今の人間種、ホモサピエンスがどのように生まれ、生き残ったこれたのかに、興味を持ち、10冊くらいの本を読んできました。ホモサピエンスだけが生き残り、なぜ今の自分、松順造が生きているのかに興味があるのです。人類進化の歴史は面白いですよ。

相生市には、修理のためかたくさんの大型船が停まっています。

初めて目に見たのが相生港には、とにかくお腹一杯のカキ料理を堪能した。出たのには驚く!

1月の終わり、早く牡蠣を食べないとシーズンが終わってしまうぞ!!と、さて近くで相生から赤穂にかけてのエリアだろう♪ と推測し車を走らせる! 初めての地域なのであちこち寄り道しながらです。

Best of HELENE (English Version) HELENE FISCHER

彼女が歌うCD、AMAZON MUSIC、YouTube等で聴いてみてください。歌力に惹かれますよ。歌うどの曲も静かでしつとりで私に合つてるなあ!!!

ドイツの若いポピューラーソングシンガーです。



感動したこと!

年を重ねる毎に感動力は衰えてき、感動しなくなるのも老化現象の一つでしょうか?

高齢=無感動が普通になるのです。

高齢になると感動する、感動できる努力が必要だと私は思っています。

高齢者は感動すら自分でつくる努力をしないと、ヨボヨボの年寄りになるのです。

生き生きとした老人になるのは、

与えられる感動ではなく、自分で感動をつくっていかねばなりませんよ。

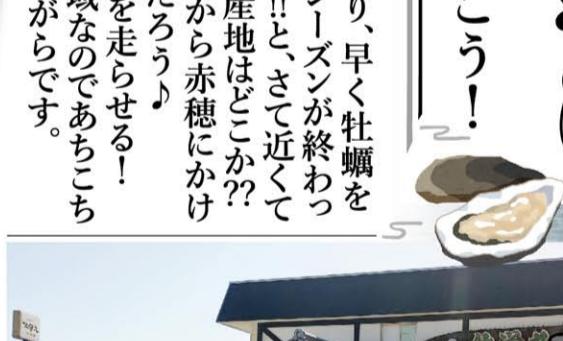


今度は♪ 兵庫県たつの市御津町
絶品室津牡蠣を食べに行こう!

順造さんの旅日記



大企業からの税収高が大きいためか、田舎道なのに道路もきれいだし、道路沿いの植木もきちんと剪定がされています。
いよいよ海辺に建つベスト牡蠣料亭「住栄丸」が近くなっています。



旅日記の写真がHPで
カラーでご覧いただけます。



健康



便所で大便、小便をした後そのまま色を見る。大便是良くよく見ます。血が混じっていないか? 小便を見ていると身体の調子が分かりますよ。

順造さんの ウェルネス

vol.148

自分に合った免疫力をつける

私は大阪の漢方医院ながしまクリニックの永島先生に2ヶ月に1回くらいの頻度で診察を受け漢方薬を処方していただき、毎日飲んでいます。それが、どれくらい効果があるのかよく分かりませんが、そもそも漢方薬は効果が弱いもので、飲み続いていると免疫力というか抗病力をつけているのではないかと思っています。

これは私の思いで正しいかどうかは不明です。老化現象は防げませんが歳相応な健康状態を維持できれば良しとすればどうでしょうか。高齢になってくると病気や身体の不具合がいろいろ出てきますが、そう簡単に治りませんので、耐えることも対処法の一つかなあと私は思うようになってきました。

それと免疫力、抗病力をどう付けるかではないでしょうか。

そのためには自分に合ったものを探すべく試行錯誤をしていくことです。

トライアンドエラーを諦めてはダメですよ。

どのようにして見つけるのか?

ネットで探したり、本屋さんに行って良い本を探したりといろいろ努力をせねばならないでしょうが、このような動きも身体や心の活性化につながり、免疫系を刺激するでしょう。

これも面白いチャレンジだと考えると続けることができます。

何事も興味を持つて動くことが大切ですよ。

自分の身体のことですから頑張りましょう!



順造さんのメルマガ配信中!●
このお便りだけでは書ききれない
情報をお届けしています。
メルマガ会員登録はこちらからどうぞ。●

記載内容は高齢者として個人的な体験や想いにより書かれていますが、あくまで主観によるものですので、全ての人に当てはまるものではありません。

自分が生きていると見ていて、絵を見ることで、頭の活性化に役立つことがあります。アーティスト達は私達とは違った目で私達が見えない世界を見て、考えるところが多く面白いです。衰えヨボヨボの老人にはなりたくないのです。生き生きとした老人になりたいです。生き生きとした老人は美しいです。生き生きとした老人にはなりたくないのです。

【スタッフ森下からお返事】

ととのうイヌリンブルーン+

愛知県女性 H・Y様 44歳

森下のスタッフ 第143回

春風やカメラ片手に山登り

買つてよかつた!
ちょこっとご紹介♪

この一本に生人参「約2・2本分使用!!」

にんじんジュース紙容器

にんじん100%

元気一杯

にんじん100%

4月限定30本入500円引

GFT819030 にんじんジュース(紙容器) (195g×30本) 税別5,538円/税込5,980円 詳しくは、順造選ショップ ☎ 0120-103-712

※生人参:160g/本

国産の白桃を濃厚に瓶詰め

白桃ならではのさわやかな香りと
とろけるような甘い味わいが特徴です。

順造選 白桃(50%ジュース)

GFT809020 (180ml×20本)
税別4,800円/税込5,184円
GFT801103 (500ml×3本)
税別1,650円/税込1,782円
GFT802303 (1000ml×3本)
税別3,300円/税込3,564円
詳しくは、順造選ショップ ☎ 0120-103-712

有名な一茶の句です。

私はやつと厳しい寒さが終わり
春風の中、カメラを持って写真が撮れるぞ!!!
嬉しい季節がやつてきた。

私はしばらく品薄でしたが、やつと白桃(50%)ジュースをお届けできるようになりました。山梨と長野で採れます白桃を使ってジュース作りを行い、皆さんにお届けするのです。白桃のジュースちょっとぜいたく!!!な感じがしますね。ドロッとしたろけるような珍しい味の「順造選」白桃ジュースです。

順造さんが今、お薦めしたいこと

春風や牛に引かれて 善光寺

小林一茶

順造選逸選

とろける味わい!

国産 白桃

私の居場

お客様のお声

人参ジュース 北海道女性 Y・K様 59歳

どう生きるかを昔から考へに
考へて生きてきました。
三十代半ばの頃、禅の世界に
入ったのもその流れの中にいた
からでしょう。
この年になると「どう生きるか」
から「どう死ぬか」の世界に移
ってきましたが、結局は「生死
一如」の世界に行き着くのです。
怖い、不安だと「死」を考えても、
死から逃れることはできない。
母親の中からこの世に生まれ
出て、80年余りの人生を生きて、
人間誰もが到着する所は同じ
「死」です。

どう生きるかを昔から考へに
考へて生きてきました。

三十代半ばの頃、禅の世界に
入ったのもその流れの中にいた
からでしょう。

この年になると「どう生きるか」
から「どう死ぬか」の世界に移
ってきましたが、結局は「生死
一如」の世界に行き着くのです。
怖い、不安だと「死」を考えても、
死から逃れることはできない。
母親の中からこの世に生まれ
出て、80年余りの人生を生きて、
人間誰もが到着する所は同じ
「死」です。

どう生きるかを昔から考へに
考へて生きてきました。

三十代半ばの頃、禅の世界に
入ったのもその流れの中にいた
からでしょう。

この年になると「どう生きるか」
から「どう死ぬか」の世界に移
ってきましたが、結局は「生死
一如」の世界に行き着くのです。
怖い、不安だと「死」を考えても、
死から逃れることはできない。
母親の中からこの世に生まれ
出て、80年余りの人生を生きて、
人間誰もが到着する所は同じ
「死」です。

どう生きるかを昔から考へに
考へて生きてきました。

三十代半ばの頃、禅の世界に
入ったのもその流れの中にいた
からでしょう。

この年になると「どう生きるか」
から「どう死ぬか」の世界に移
ってきましたが、結局は「生死
一如」の世界に行き着くのです。
怖い、不安だと「死」を考えても、
死から逃れることはできない。
母親の中からこの世に生まれ
出て、80年余りの人生を生きて、
人間誰もが到着する所は同じ
「死」です。

どう生きるかを昔から考へに
考へて生きてきました。

三十代半ばの頃、禅の世界に
入ったのもその流れの中にいた
からでしょう。

この年になると「どう生きるか」
から「どう死ぬか」の世界に移
ってきましたが、結局は「生死
一如」の世界に行き着くのです。
怖い、不安だと「死」を考えても、
死から逃れることはできない。
母親の中からこの世に生まれ
出て、80年余りの人生を生きて、
人間誰もが到着する所は同じ
「死」です。

どう生きるかを昔から考へに
考へて生きてきました。

三十代半ばの頃、禅の世界に
入ったのもその流れの中にいた
からでしょう。

この年になると「どう生きるか」
から「どう死ぬか」の世界に移
ってきましたが、結局は「生死
一如」の世界に行き着くのです。
怖い、不安だと「死」を考えても、
死から逃れることはできない。
母親の中からこの世に生まれ
出て、80年余りの人生を生きて、
人間誰もが到着する所は同じ
「死」です。

どう生きるかを昔から考へに
考へて生きてきました。

三十代半ばの頃、禅の世界に
入ったのもその流れの中にいた
からでしょう。

この年になると「どう生きるか」
から「どう死ぬか」の世界に移
ってきましたが、結局は「生死
一如」の世界に行き着くのです。
怖い、不安だと「死」を考えても、
死から逃れることはできない。
母親の中からこの世に生まれ
出て、80年余りの人生を生きて、
人間誰もが到着する所は同じ
「死」です。

どう生きるかを昔から考へに
考へて生きてきました。

三十代半ばの頃、禅の世界に
入ったのもその流れの中にいた
からでしょう。

この年になると「どう生きるか」
から「どう死ぬか」の世界に移
ってきましたが、結局は「生死
一如」の世界に行き着くのです。
怖い、不安だと「死」を考えても、
死から逃れることはできない。
母親の中からこの世に生まれ
出て、80年余りの人生を生きて、
人間誰もが到着する所は同じ
「死」です。

どう生きるかを昔から考へに
考へて生きてきました。

三十代半ばの頃、禅の世界に
入ったのもその流れの中にいた
からでしょう。

この年になると「どう生きるか」
から「どう死ぬか」の世界に移
ってきましたが、結局は「生死
一如」の世界に行き着くのです。
怖い、不安だと「死」を考えても、
死から逃れることはできない。
母親の中からこの世に生まれ
出て、80年余りの人生を生きて、
人間誰もが到着する所は同じ
「死」です。

どう生きるかを昔から考へに
考へて生きてきました。

三十代半ばの頃、禅の世界に
入ったのもその流れの中にいた
からでしょう。

この年になると「どう生きるか」
から「どう死ぬか」の世界に移
ってきましたが、結局は「生死
一如」の世界に行き着くのです。
怖い、不安だと「死」を考えても、
死から逃れることはできない。
母親の中からこの世に生まれ
出て、80年余りの人生を生きて、
人間誰もが到着する所は同じ
「死」です。

どう生きるかを昔から考へに
考へて生きてきました。

三十代半ばの頃、禅の世界に
入ったのもその流れの中にいた
からでしょう。

この年になると「どう生きるか」
から「どう死ぬか」の世界に移
ってきましたが、結局は「生死
一如」の世界に行き着くのです。
怖い、不安だと「死」を考えても、
死から逃れることはできない。
母親の中からこの世に生まれ
出て、80年余りの人生を生きて、
人間誰もが到着する所は同じ
「死」です。

どう生きるかを昔から考へに
考へて生きてきました。

三十代半ばの頃、禅の世界に
入ったのもその流れの中にいた
からでしょう。

この年になると「どう生きるか」
から「どう死ぬか」の世界に移
ってきましたが、結局は「生死
一如」の世界に行き着くのです。
怖い、不安だと「死」を考えても、
死から逃れることはできない。
母親の中からこの世に生まれ
出て、80年余りの人生を生きて、
人間誰もが到着する所は同じ
「死」です。

どう生きるかを昔から考へに
考へて生きてきました。

三十代半ばの頃、禅の世界に
入ったのもその流れの中にいた
からでしょう。

この年になると「どう生きるか」
から「どう死ぬか」の世界に移
ってきましたが、結局は「生死
一如」の世界に行き着くのです。
怖い、不安だと「死」を考えても、
死から逃れることはできない。
母親の中からこの世に生まれ
出て、80年余りの人生を生きて、
人間誰もが到着する所は同じ
「死」です。

どう生きるかを昔から考へに
考へて生きてきました。

三十代半ばの頃、禅の世界に
入ったのもその流れの中にいた
からでしょう。

この年になると「どう生きるか」
から「どう死ぬか」の世界に移
ってきましたが、結局は「生死
一如」の世界に行き着くのです。
怖い、不安だと「死」を考えても、
死から逃れることはできない。
母親の中からこの世に生まれ
出て、80年余りの人生を生きて、
人間誰もが到着する所は同じ
「死」です。

どう生きるかを昔から考へに
考へて生きてきました。

三十代半ばの頃、禅の世界に
入ったのもその流れの中にいた
からでしょう。

この年になると「どう生きるか」
から「どう死ぬか」の世界に移
ってきましたが、結局は「生死
一如」の世界に行き着くのです。
怖い、不安だと「死」を考えても、
死から逃れることはできない。
母親の中からこの世に生まれ
出て、80年余りの人生を生きて、
人間誰もが到着する所は同じ
「死」です。

どう生きるかを昔から考へに
考へて生きてきました。

三十代半ばの頃、禅の世界に
入ったのもその流れの中にいた
からでしょう。

この年になると「どう生きるか」
から「どう死ぬか」の世界に移
ってきましたが、結局は「生死
一如」の世界に行き着くのです。
怖い、不安だと「死」を考えても、
死から逃れることはできない。
母親の中からこの世に生まれ
出て、80年余りの人生を生きて、
人間誰もが到着する所は同じ
「死」です。

どう生きるかを昔から考へに
考へて生きてきました。

三十代半ばの頃、禅の世界に
入ったのもその流れの中にいた
からでしょう。

この年になると「どう生きるか」
から「どう死ぬか」の世界に移
ってきましたが、結局は「生死
一如」の世界に行き着くのです。
怖い、不安だと「死」を考えても、
死から逃れることはできない。
母親の中からこの世に生まれ
出て、80年余りの人生を生きて、
人間誰もが到着する所は同じ
「死」です。

どう生きるかを昔から考へに
考へて生きてきました。

三十代半ばの頃、禅の世界に
入ったのもその流れの中にいた
からでしょう。

この年になると「どう生きるか」
から「どう死ぬか」の世界に移
ってきましたが、結局は「生死
一如」の世界に行き着くのです。
怖い、不安だと「死」を考えても、
死から逃れることはできない。
母親の中からこの世に生まれ
出て、80年余りの人生を生きて、
人間誰もが到着する所は同じ
「死」です。

どう生きるかを昔から考へに
考へて生きてきました。

三十代半ばの頃、禅の世界に
入ったのもその流れの中にいた
からでしょう。

この年になると「どう生きるか」
から「どう死ぬか」の世界に移
ってきましたが、結局は「生死
一如」の世界に行き着くのです。
怖い、不安だと「死」を考えても、
死から逃れることはできない。
母親の中からこの世に生まれ
出て、80年余りの人生を生きて、
人間誰もが到着する所は同じ
「死」です。

どう生きるかを昔から考へに
考へて生きてきました。

三十代半ばの頃、禅の世界に
入ったのもその流れの中にいた
からでしょう。

この年になると「どう生きるか」
から「どう死ぬか」の世界に移
ってきましたが、結局は「生死
一如」の世界に行き着くのです。
怖い、不安だと「死」を考えても、
死から逃れることはできない。
母親の中からこの世に生まれ
出て、80年余りの人生を生きて、
人間誰もが到着する所は同じ
「死」です。

どう生きるかを昔から考へに
考へて生きてきました。

三十代半ばの頃、禅の世界に
入ったのもその流れの中にいた
からでしょう。

この年になると「どう生きるか」
から「どう死ぬか」の世界に移
ってきましたが、結局は「生死
一如」の世界に行き着くのです。
怖い、不安だと「死」を考えても、
死から逃れることはできない。
母親の中からこの世に生まれ
出て、80年余りの人生を生きて、
人間誰もが到着する所は同じ
「死」です。

どう生きるかを昔から考へに
考へて生きてきました。

三十代半ばの頃、禅の世界に
入ったのもその流れの中にいた
からでしょう。

この年になると「どう生きるか」
から「どう死ぬか」の世界に移<br